

国道475号 東海環状自動車道（西回り区間）事業調整会議（第1回） 議事概要

1. 日 時

令和6年3月22日（金）10：00～

2. 出席者

国土交通省 中部地方整備局 道路部 道路計画課長

国土交通省 中部地方整備局 岐阜国道事務所長

国土交通省 中部地方整備局 北勢国道事務所長

岐阜県 県土整備部 道路建設課長

三重県 県土整備部 道路企画課長

中日本高速道路株式会社 名古屋支社 建設事業部 企画統括課長

中日本高速道路株式会社 名古屋支社 岐阜工事事務所長

中日本高速道路株式会社 名古屋支社 四日市工事事務所長

3. 議 事

現在の進捗状況、工事における課題と対応、今後の見通し

4. 議事概要

○工事における課題と対応

＜糸貫IC～大野神戸IC＞七五三第一高架橋

- ・下部工事において、基礎（フーチング）を施工するための仮設土留め（鋼矢板）の施工において、当初は「ウォータージェット併用圧入工法」を予定していたが、玉石に対応した「硬質地盤クリア工法」への変更が必要となり、施工に時間を要した
- ・今後、一日も早い工事完成に向け工程短縮を検討・実施する

＜養老IC～北勢IC＞養老トンネル

- ・岐阜県側から掘削している避難坑において、令和5年11月に坑口から978m地点で湧水（最大約280t/h）が発生し、工事を一時中止。その後水抜きボーリング等を実施し、試験的に掘削を再開（本坑掘削は一時中止）
- ・三重県側から掘削している避難坑において、令和6年2月に坑口から723m地点で湧水（最大約120t/h）が発生し、工事を一時中止。その後水抜きボーリング等を実施し、試験的に掘削を再開（本坑掘削は継続）
- ・今後、「養老トンネル施工技術検討会（仮称）」を設置し、専門家の意見を踏まえて対策工法を検討する

○今後の見通し

- ・山県IC～糸貫IC、北勢IC～大安ICは順調に工事が進捗
- ・令和6年度開通予定として進めている「糸貫IC～大野神戸IC」は、七五三第一高架橋の下部工事で玉石の発生により工程の遅延が生じており、開通が最大で半年程度遅れる可能性
- ・令和8年度開通予定として進めている「養老IC～北勢IC」は、養老トンネルの避難坑で相当量の湧水が発生し工事が難航。今後専門家の意見も踏まえて対策工法を検討
- ・引き続き、安全に十分配慮して着実に工事を実施

（岐阜県からの意見）

- ・糸貫IC～大野神戸IC間の開通が遅れることは、やむを得ないが、様々な工夫を凝らし、出来る限り早い開通をお願いしたい
- ・山県IC～糸貫IC間については、令和6年度はもとより、一日も早い開通をお願いしたい
- ・養老IC～北勢IC間については、養老トンネルの湧水対策検討を速やかに進め、予定通り令和8年度の開通を目指していただきたい
- ・安全第一で工事を進めていただきつつ、工期短縮とコスト縮減に努めていただきたい
- ・県へも情報を共有していただき、関係を密にして事業を進めていただきたい

（三重県からの意見）

- ・養老IC～北勢IC間の養老トンネル工事では、相当量の湧水により工事が難航していることを理解した。全線開通に対する地域の期待が大きいことから、安全に十分配慮しつつ、新技術活用などにより工期短縮を図り、予定通り令和8年度の開通をお願いしたい
- ・また、北勢IC～大安IC間についても、予定通り令和6年度の開通をお願いしたい
- ・県としても、引き続き開通後のストック効果発現にむけて、地元沿線市町とともに連携して取り組んでいきたい

（上記議事概要における未開通区間のIC名称や構造物名称は全て仮称）